

科目コーディネータ (科目責任者)	研究開発・共創センター長				問合せ先	医学部教務課 大学院担当		
科目コーディネータ所属	研究開発・共創センター				連絡先	内線5512、5511/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp		
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	服部 有宏（客員教授） 金田 安史（客員教授） 三橋 紘子（非常勤講師） 南野 研人（客員教授）				徳増 有治（客員教授） 中原 崇人（客員教授） 小林 恵子（非常勤講師） 竹内 雅博（客員教授）			
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	専門領域において高度な知識を実践的に活用して活躍する産業界・アカデミア所属の講師から、橋渡し研究や産学連携に関する知識を涵養することにより、研究アイデアの実用化やベンチャー企業の設立などに関する実践的な知識とスキルを学ぶ。大学発の研究成果の社会実装を促進することができる。						1,2,3,4,5,6,7,8	
達成目標	達成目標					対象講義		
	(1)	生命医学領域の研究開発の実際、および産学官連携の実例などを学び、イノベーション創出のための基礎的知識を修得する。				1,2,3,4,5,6,7,8		
	(2)	講義の中で直接指導を受け、様々な専門家の関与や産学協同により、自らの学びや知識を社会実装することを目指すようになる。				1,2,3,4,5,6,7,8		
資格取得等								
成績評価方法	【2021年度以降の入学者】 受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用し、講義動画をe-learningシステムで配信する。 【2021年度以降の入学者】 受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合やオンデマンド形式の講義、秋入学者については、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までにWeb Classにアップロードすること。 【2020年度までの入学者】 講義の出欠は履修手帳で管理する。講義を欠席した場合は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWeb Classにアップロードすること。 ＜当該科目に関連する実務経験の有無 有＞ 様々な領域の専門家により、生命医学領域の研究開発の実際、産学官連携の実例、およびイノベーション創出に関する実践的な教育を事例を交えて行う。 ※2023年度入学者から、必修科目とする。							
教科書・参考書								

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
7月5日	土	1	(1) トランスレーショナル・リサーチ（企業の創薬研究の実際） 診断薬・治療薬の創出を出口戦略としている企業の創薬研究の進め方を理解し、論文作成を1つの目標とする大学での学術研究と上手く融合させ、大学発の研究成果を社会実装させることが出来る研究計画を立てること。	服部有宏 (客員教授)	Zoom
		2	(2) アカデミアからの産学連携（産学連携の在り方） 産学連携を構築し、産学共同で大学発の研究成果を社会実装することができる実用化研究のあり方を理解する。	金田安史 (客員教授)	Zoom
7月26日	土	1	(3) PMDA対面助言・薬機法について 診断薬・治療薬の創出に必要なPMDA対面助言や薬機法を理解し、大学発の研究成果の社会実装に必要な薬効・毒性試験・品質規格試験・治験プロトコルなどの規制当局への対応に関する知識を取得する。	三橋紘子 (非常勤講師)	Zoom
		2	(4) 知財戦略の立て方、考え方 企業との産学連携に重要な知財の取得および維持に関する知識（知財を取得するための戦略、他から知財を守るための戦略）を取得する。	南野研人 (客員教授)	Zoom
8月2日	土	1	(5) 創薬研究における障壁 大学発の研究成果を社会実装させる際に大きな障壁となる死の谷、すなわち非臨床研究から臨床研究への移行時に必要となる研究費の獲得に関する知識を取得する。	徳増有治 (客員教授)	Zoom
		2	(6) 治験 診断薬・治療薬の創出に必要な治験の仕組みを理解し、医師主導治験・企業治験などの治験実施に関する知識を取得する。	小林恵子 (非常勤講師)	Zoom
8月23日	土	1	(7) ベンチャー企業の運営 新薬創出のための社会実装を目指した研究を進めるにあたり、資金調達を受け皿となるベンチャー企業の設立と運営についての知識を取得する	中原 崇人 (客員教授)	Zoom
		2	(8) ライフサイエンス・イノベーションについて ライフサイエンス領域における新産業創造を目指した「オープンイノベーションの促進」と「エコシステムの構築」についての知識を深め社会実装を目指した研究に関する知識を取得する。	竹内 雅博 (客員教授)	Zoom